

事故 報告

事務局より事故発生状況を報告



令和6年度に入り事故が3件発生しました。一人ひとりが気をつける意識を持つことで、事故は撲滅することができます。より一層の安全就業に努めてください。

【6月13日までの事故報告】

	事故発生日	事故区分	事故のあらまし
1件	5月10日 女性・78歳	請負賠償 (就業中)	清掃作業を行っている施設の備品を紛失した。センターで弁償。(弁償額の2割相当額を会員が負担)
2件	5月22日 男性・70歳	派遣賠償 (就業中)	停車位置にバスを止めようとしたところ、今までは壁の目印と横のラインを見て停車させていたが、この日はバックミラーを見て停車させようとして目測を誤り、駐車場所を過ぎて後ろのコンクリートにバンパーをぶつけた。車内に生徒の乗車はなし。(派遣先の保険で修繕)
3件	6月10日 男性・70歳	派遣傷害 (就業中)	午前の就業を終えて昼休憩に向かう際、ゴミの分別に使用しているカゴが整列されていないことに気付き、カゴを収納している鉄筋の棚の中へかがんで入り込んだ。 棚から後ろ向きのまま出て頭を上げたところ、鉄筋部分に頭部を強打し、2センチほど切った。昼休憩に入るため、ヘルメットは脱いだ直後だった。(労災保険)



安全 講習



草刈就業の基礎を再確認

4月16日（火）勤労者総合福祉センターの研修室で、草刈作業に従事している会員さんを対象に、安全講習会を開催しました。39名の会員さんが本格的な活動を前に、刈払機についての基本的な知識、熱中症予防、蜂刺され対策、飛び石対策等について学びました。今年度から賠償責任事故を起こした場合、賠償額の2割相当を会員さんにご負担いただきます。就業現場では安全確認の徹底をお願いいたします。





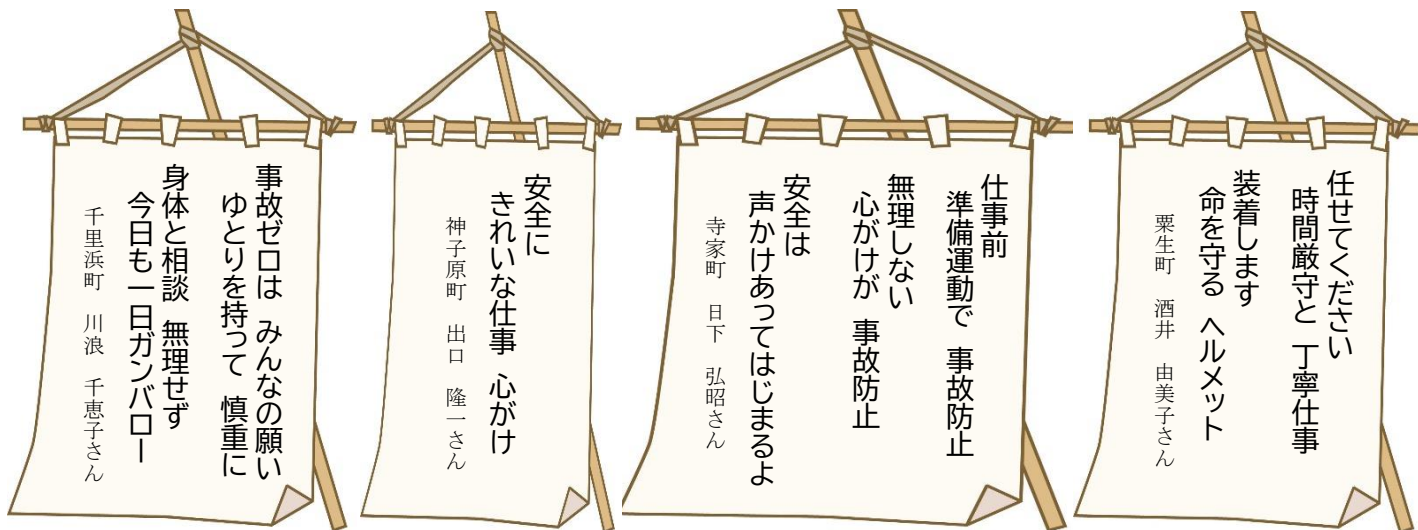
安全 標語



令和6年度・安全就業標語が決定

「さあやるぞ！作業の前の安定確認」

3月21日（木）の第2回安全・適正就業委員会で、令和6年度の安全就業標語を選考しました。応募者4名、応募総数9点の中から選考した結果、酒井由美子さん（粟生町）の「さあやるぞ！作業の前の安定確認」を、令和6年度の安全就業標語として啓発活動に活用します。たくさんのご応募、ありがとうございました。



事故 事例

【全国シルバー人材センター事業協会発行 安全就業ニュースより抜粋】

他県で発生

令和5年度重篤及び高額賠償事故の事例

【重篤傷害事故】

- ・チェーンソーを使用した伐木作業にて、作業箇所高さ 4.4m・足元高さ 3m 位から墜落。他2名は近くにいたが、背を向けて別作業をしていた。ヘルメットは着用していたが、安全帯は未装着。大動脈破裂、肋骨鎖骨骨折などにより入院していたがその後死亡した。（68歳男性）
- ・除草作業中に駐車場の車に水筒を取りに行ったときに何らかの理由で転倒し後頭部を打ち外傷性くも膜下出血、頭蓋骨骨折、174日入院後に死亡した。（82歳男性）
- ・草刈り作業中、フェンスのない高所より転落、3mの高さから地面に落下し急性硬膜下血種、骨折で入院。（78歳男性）
- ・階段3段の一番上から足を踏み外しあおむけに倒れ死亡した。（87歳男性）

【高額賠償責任事故】

- 除草作業中、飛び石により車2台と建物にキズをつけた。（賠償額 約234万円）
- 剪定作業中に脚立を倒してしまい付近を通行中の自動車に接触して破損させた。（賠償額 約200万円）
- 草刈り作業で灯油の配管を切り、工場敷地内に灯油が漏れた。（賠償額 約215万円）